

- 一時集合場所である旧江島自然活動センター体育館まで徒歩又は車両で移動した後、宮城県及び女川町が手配する船舶を用いて、江島港から女川港まで海路避難を実施。女川港から栗原市若柳総合体育館(避難所受付ステーション)まで陸路で避難を実施。
- 複合災害や悪天候等により海路避難が困難な場合や、避難の実施により健康リスクが高まる住民については、放射線防護対策施設である旧江島自然活動センター体育館において屋内退避を継続。
- 屋内退避の実施に必要な生活物資等については、旧江島自然活動センター体育館に備蓄。

避難所受付ステーション
 くりはらし わかやなぎ
 (栗原市若柳総合体育館)

避難先：栗原市
 たかしみず
 (高清水小学校)



<放射線防護対策施設>
 えのしま
 旧江島自然活動センター体育館
 収容可能者数：80人

臨時ハポート
 えのしま
 (旧江島自然活動センター)

島内における生活物資等の備蓄場所
 えのしま
 旧江島自然活動センター体育館

※不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

たしろじま 田代島 (石巻市) における防護措置

- 一時集合場所である田代島開発総合センターまで徒歩又は車両で移動した後、宮城県及び石巻市が手配する船舶を用いて、仁斗田港又は大泊港から石巻港まで海路避難を実施。石巻港から宮城県大崎合同庁舎(避難所受付ステーション)まで陸路で避難を実施。
- 複合災害や悪天候等により海路避難が困難な場合や、避難の実施により健康リスクが高まる住民については、放射線防護対策施設である田代島開発総合センターにおいて屋内退避を継続。
- 屋内退避の実施に必要な生活物資等については、田代島開発総合センターに備蓄。

避難所受付ステーション
(宮城県大崎合同庁舎)
避難先：大崎市
(60施設の中から状況に応じて割当て)



たしろじま
田代島
人口：63人
面積：3.14km²



〈放射線防護対策施設〉
たしろじま
田代島開発総合センター
収容可能者数：90人



- 【凡例】
- ⚓ : 港
 - : 一時集合場所
 - : 放射線防護対策施設
 - Ⓜ : 臨時ヘリポート

島内における生活物資等の備蓄場所
たしろじま
田代島開発総合センター

※不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

あじしま 網地島 (石巻市) における防護措置

- 一時集合場所である網地自治会館又は長渡地区振興会館まで徒歩又は車両で移動した後、宮城県及び石巻市が手配する船舶を用いて、網地港又は長渡港から石巻港まで海路避難を実施。石巻港から宮城県大崎合同庁舎(避難所受付ステーション)まで陸路で避難を実施。
- 複合災害や悪天候等により海路避難が困難な場合や、避難の実施により健康リスクが高まる住民については、放射線防護対策施設である網地島開発総合センター、網小医院(整備中)において屋内退避を継続。
- 屋内退避の実施に必要となる生活物資等については、網地島開発総合センターに備蓄。

避難所受付ステーション
(宮城県大崎合同庁舎)
避難先：大崎市
(60施設の中から状況に応じて割当て)



あじしま 網地島
人口：341人
面積：6.43km²

<放射線防護対策施設>
網地島開発総合センター
収容可能者数：90人

<放射線防護対策施設>
網小医院 (整備中)
収容可能者数：90人

臨時ハリポート
あじしま (網地島防災用ハリポート)

島内における生活物資等の備蓄場所
あじしま 網地島開発総合センター

- 【凡例】
- ⚓ : 港
 - : 一時集合場所
 - : 放射線防護対策施設
 - Ⓜ : 臨時ハリポート

※不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

- 宮城県及び石巻市が手配する船舶を用いて、きんかさん金華山港から石巻港まで海路避難を実施。石巻港から宮城県大崎合同庁舎（避難所受付ステーション）まで陸路で避難を実施。
- 複合災害や悪天候等により海路避難が困難な場合、きんかさん金華山黄金山神社参集殿において屋内退避を継続。
- 屋内退避の実施に必要な生活物資等については、きんかさん金華山黄金山神社参集殿に備蓄。

避難所受付ステーション
おおさき（宮城県大崎合同庁舎）
 避難先：大崎市
 （60施設の中から状況に応じて割当て）



- 【凡例】
- ⚓ : 港
 - : 一時集合場所
 - : 防災離着陸候補地
 - H : 臨時ハブ

島内における生活物資等の備蓄場所
きんかさん しがねやま
 金華山黄金山神社参集殿

※不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織（警察、消防、海保庁、自衛隊）に支援を要請

女川港から避難先までの主な経路

➤ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

くりはらし
避難先：栗原市
たかしみず
(高清水小学校、他2施設)



《避難経路の考え方》

- ・円滑な避難のため、可能な範囲で地域毎に分散して経路を設定
- ・住民が覚えやすく実行しやすい避難誘導計画となるよう、基本となる単一の避難経路をあらかじめ設定
- ・自然災害等により、道路の遮断や障害物による道路幅の減少等が想定又は確認できるときは、各道路管理者と協力し、代替避難路を速やかに確保。その上で、あらかじめ定めた避難計画にかかわらず、代替となる安全な避難経路において避難

【代替経路 (例)】

【基本経路】
国道398号→国道234号→
三陸自動車道→東北高速幹線道路→
国道346号→国道398号

【凡例】

- : 基本経路
- ⋯ : 代替経路 (例)
- : 避難先市町村所在地